

「人」を大切にしたら予算編成に！

立憲民主党市会議員 やまうら英太

横浜市の2018年度予算が市会の議決を得て、間もなく執行されます。一般会計は過去最大規模となる1兆7300億円。大きな特徴は公共事業などのインフラ整備、いわゆる「箱もの」に多額の予算をつけている点です。

「まっとうな政治」を

しかし、私はこの編成に疑義を抱いています。もちろん、道路などの公共事業

一例をあげると、新市庁舎整備費に325億円、横浜環状北西線など高速道路整備費などに346億円、港湾整備費に103億円…となっています。

や東京五輪を見据えた各種施設整備などは、市民生活や市経済の活性化を後押しすることになり、否定するものではありません。ただ、市民の皆様から預かりしている貴重な税金の使い道か。

をより慎重に選択すべきと考えています。



横浜市議員

やまうら 英太

【略歴】

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グロービス経営大学院修了、㈱ニトリ
◆横浜市認定保育園園長(保育士) ◆衆議院議員秘書 ◆2015年 横浜市議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

私たち立憲民主党は、この立場を明確にした上で、横浜市政に是々非々で向き合っていきます。市民一人ひとりが尊重され、大切にされるように。「まっとうな政治」を旗印に、まず新予算が適切に執行されるかチェックしていきます。